

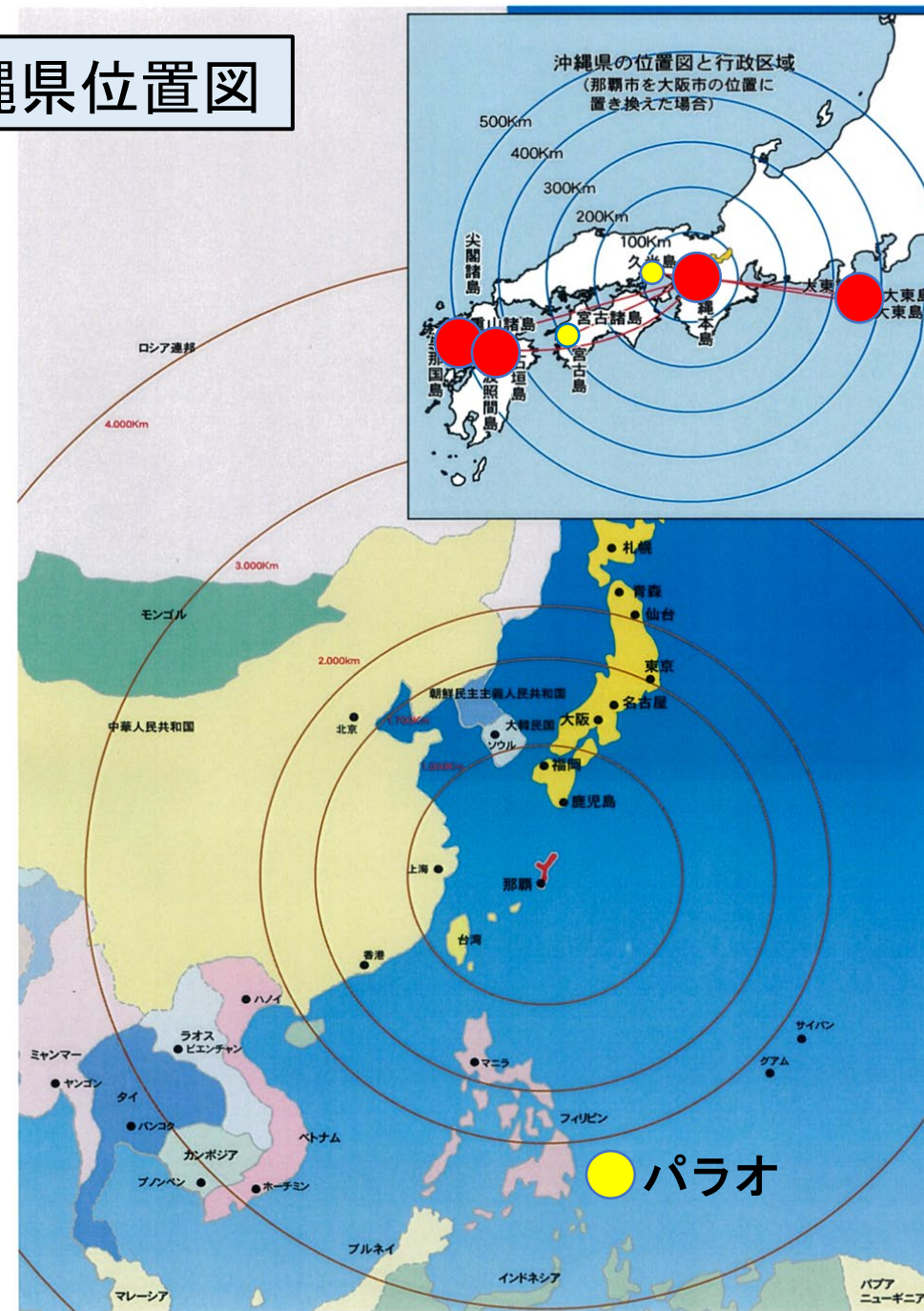
糸満漁港衛生管理型荷捌き 施設の整備について

～沖縄県内初の高度衛生管理型卸売市場～

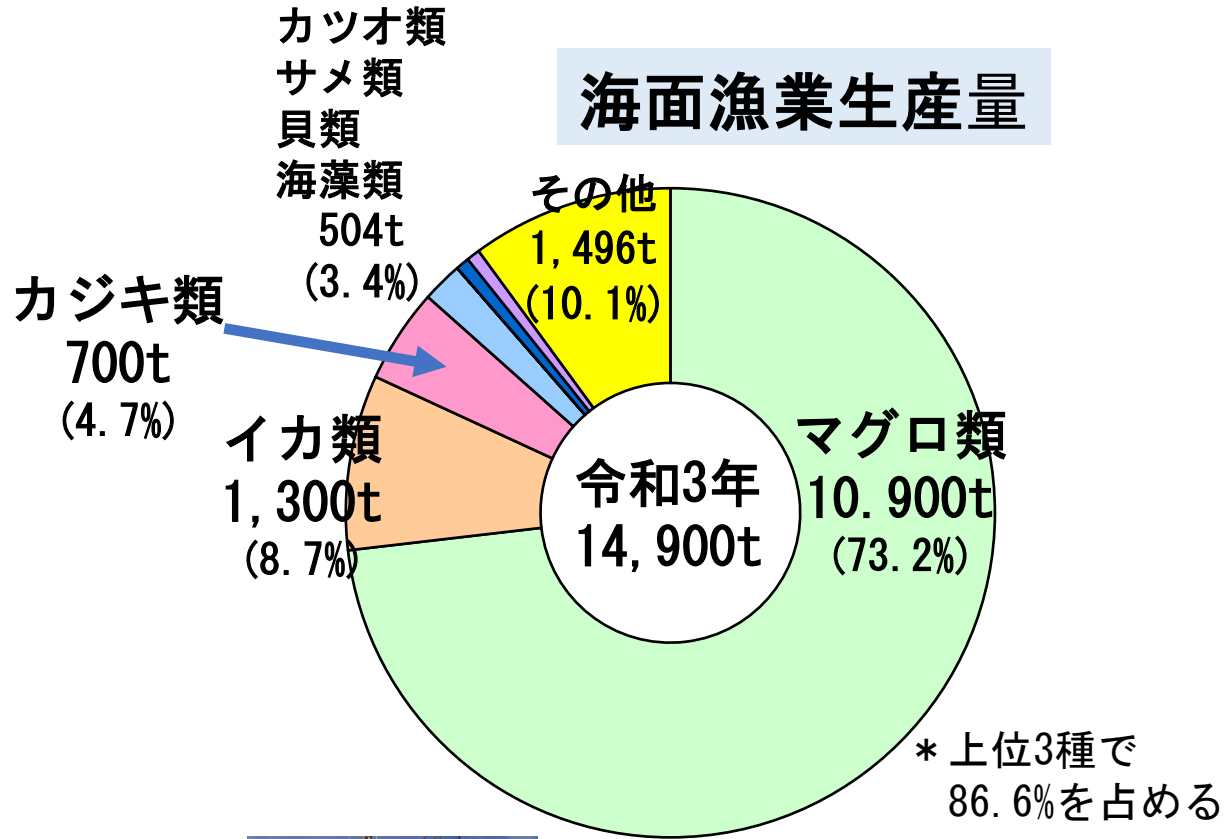
沖縄県農林水産部水産課 上田 美加代

1. 地域の概要

沖縄県位置図



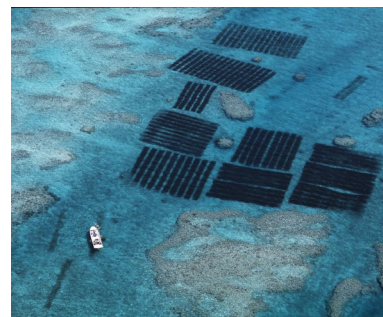
1. 地域の概要



マグロ類



ソデイカ



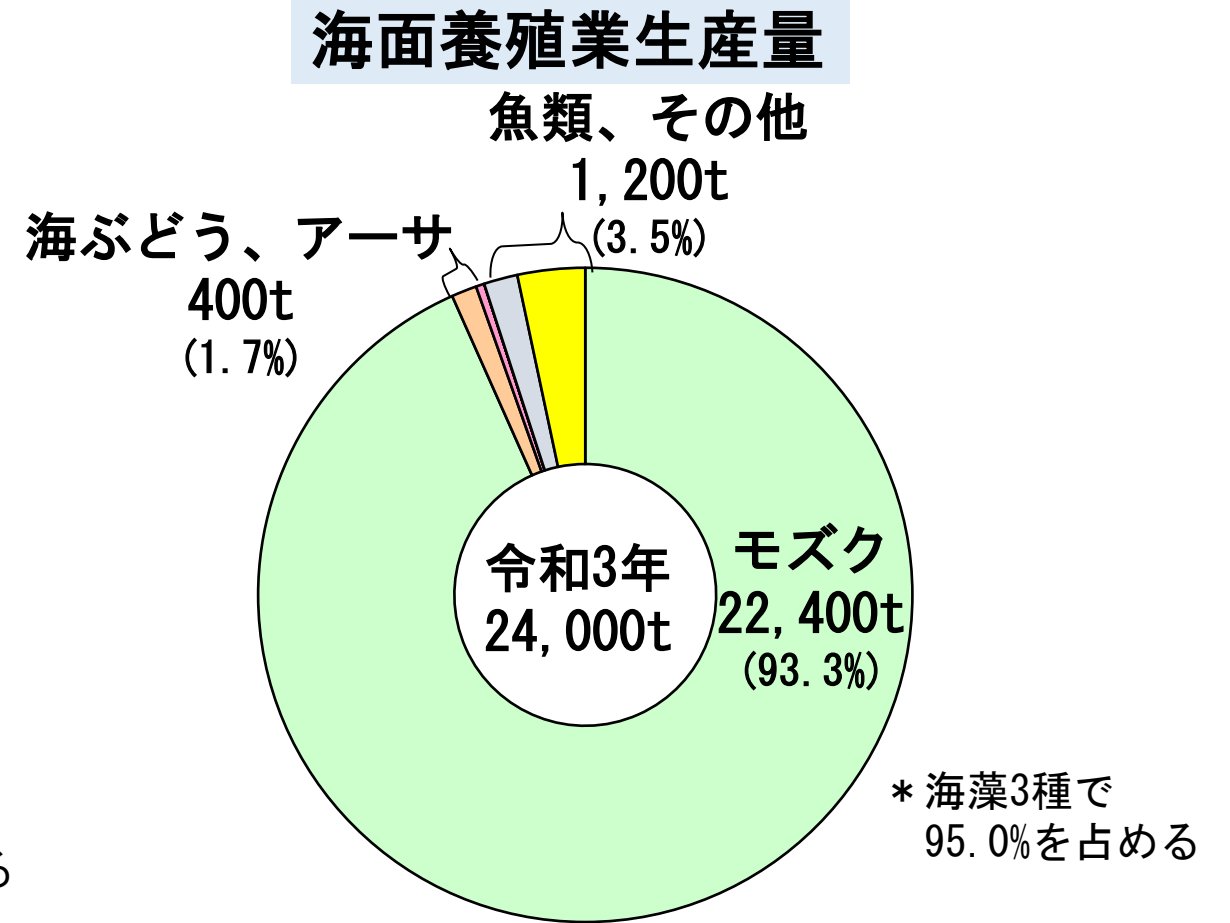
モズク



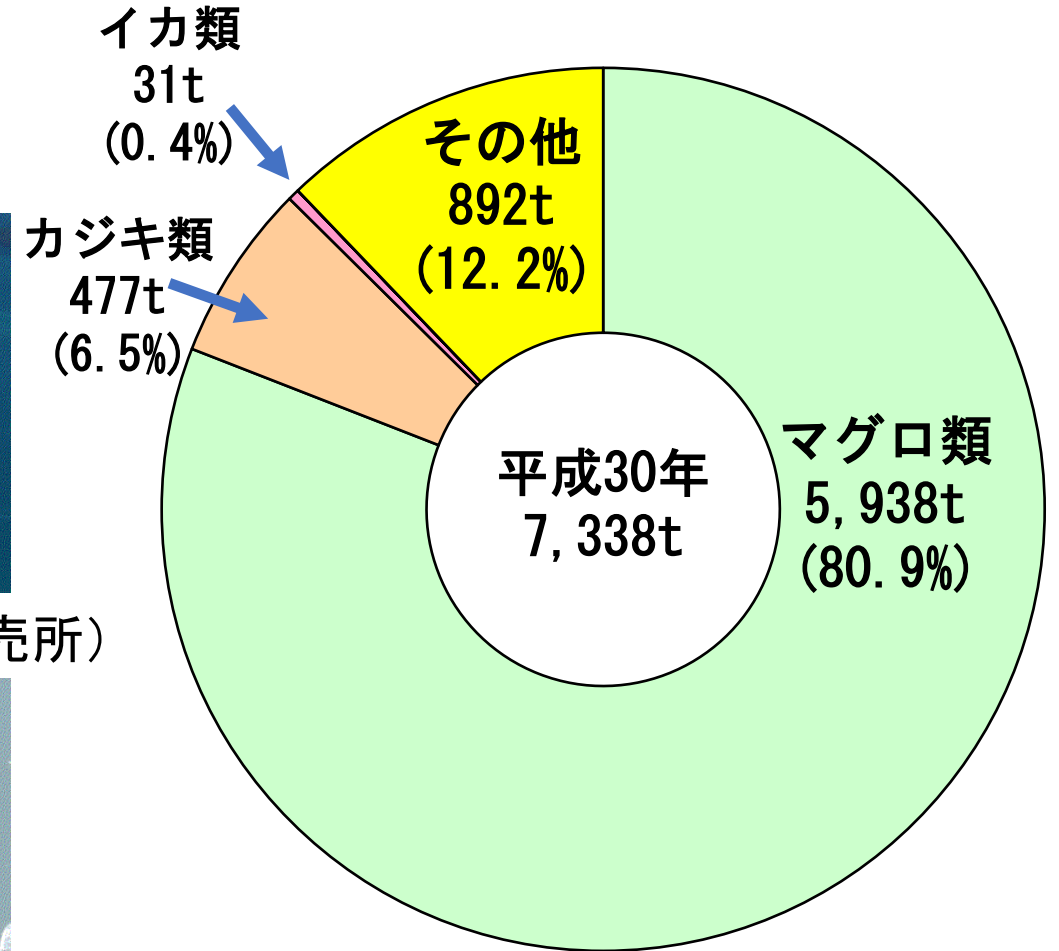
海ぶどう



クルマエビ



2. 泊漁港における流通及び衛生面での課題と高度衛生管理型荷捌き施設建設の動き



泊魚市場 平成30年市場取扱量

泊魚市場：沖縄県漁連と那覇地区漁協がLLP（有限責任事業組合）で市場運営を行っていた。

3. 沖縄県の水産物流通の課題と対応策

① 水産物流通の課題



【利点】

- ・消費地圏に立地。

【課題】

- ・施設の老朽化、衛生管理の不備、漁港の狭隘性。
- ・産地機能と消費機能の錯綜。

② 高度衛生管理型荷捌き施設と水産加工施設の一体的な整備



【利点】

- ・十分な用地及び係留機能を有し、一貫した衛生管理体制のポテンシャルが高い。

【課題】

- ・水産物集出荷に向けた整備が必要。

③ 糸満漁港と泊漁港の機能分担



3. 沖縄県の水産物流通の課題と対応策

③ 糸満漁港と泊漁港の機能分担

(新市場開設前)

糸満漁港



公社市場

糸満漁協市場

統合

【利点】

- 十分な用地及び係留機能を有し、一貫した衛生管理体制構築のポテンシャルが高い。

【課題】

- 水産物集出荷に向けた整備が必要。

泊漁港



沖縄県漁連市場

那覇地区漁協市場

【利点】

- 消費地圏に立地。

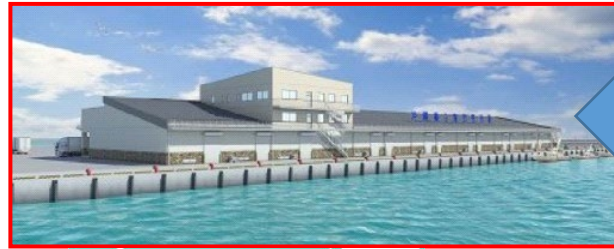
【課題】

- 施設の老朽化、衛生管理の不備、漁港の狭隘性。
- 産地機能と消費機能の錯綜。

(新市場開設後)

新設

沖縄県水産公社地方卸売市場



イマイユ市場

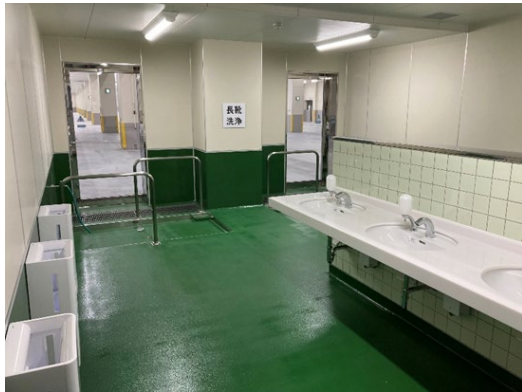
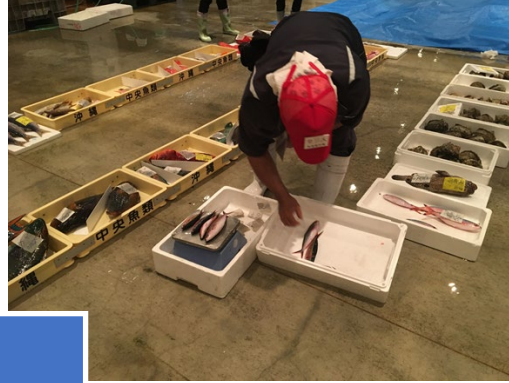


- 荷捌き施設や一次加工処理施設、冷凍・冷蔵施設等の一体的な整備により、流通機能の高度化や一貫した衛生管理体制の構築が可能。

4. 衛生管理の課題と対応策

① 泊漁港における衛生管理の課題

- ・ 水産物の床への直置き、引きずり
- ・ 手洗い、長靴消毒の不備
- ・ 容器の使い回し
- ・ 鳥獣、風雨の侵入
- ・ 施設の老朽化
- ・ 室温管理不可能 等



② 衛生管理を推進するハード面及びソフト面での対応

◆ 衛生管理の全体像

(1) 高度衛生管理を推進するハード面での取組

(ア) 衛生的な取扱い工程と使用機器・器作業形態の想定

(イ) 作業工程・内容と取扱い規模に見合うスペースの確保

(ウ) 衛生管理の対策レベルに応じたエリアの明確化

(エ) 清潔保持・鮮度保持に適した効率よい作業環境の確保

- ・適切な作業スペース配置
- ・動線計画と入場口の限定
- ・水・氷供給システム確立
- ・廃棄物の適正処理システム確立

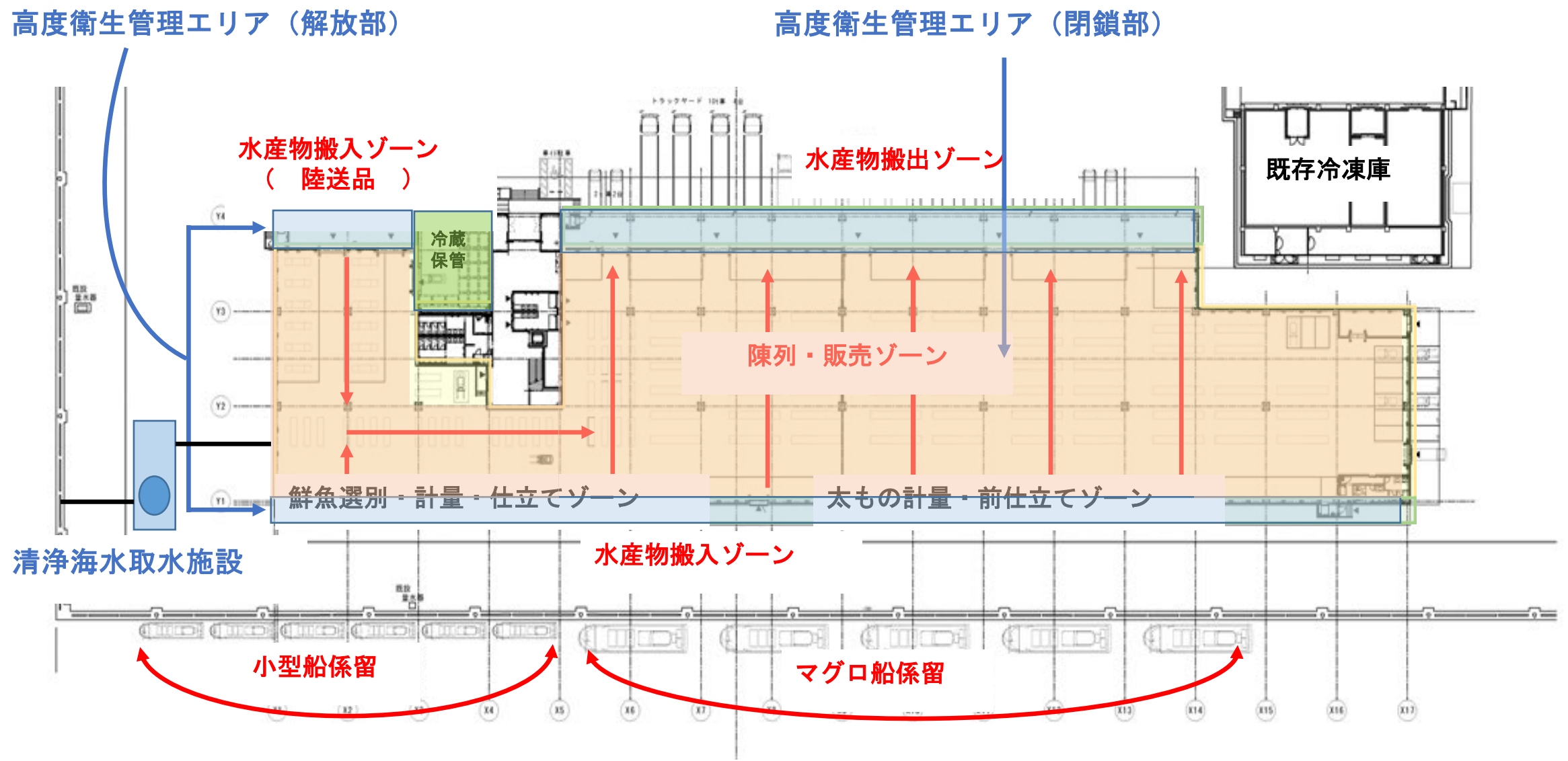
(2) 高度衛生管理を推進するソフト面の取組

(ア) 推進体制設置

(イ) 作業従事者の意識普及・啓発活動の持続的な実施

(ウ) 日常的・定期的な点検実施

② 衛生管理を推進するハード面及びソフト面での対応





まとめ

- 沖縄県が昭和47年から開設を目指していた地方卸売り市場が、令和4年10月に開設された。
- 荷捌き施設の整備により、衛生管理体制の構築や衛生管理に対する意識の向上が図られ、安全な水産物の供給が可能となった。
- 県内外の漁船に対して利用しやすい市場、漁港となるよう、今後も市場運営や周辺施設整備等を進めていく。
- 地理的条件を生かし、県外はもとより海外も含めた販路開拓を推進し、沖縄県の水産業振興を図っていく。



ご静聴ありがとうございました。